

第2期 美濃市教育大綱（令和3年度～令和7年度）

基本理念 「ふるさと美濃」に誇りと愛着を持ち、ふるさとの未来を担う人づくり

基本方針 1

【取組主体】◇学校◇教育委員会

夢を実現するために必要となる力を育てる教育を推進します

重点1 基本的な知識・技能の確実な定着と思考力・判断力・表現力の育成、学びを支える健康な体づくり

【基礎学力、思考力・判断力・表現力】

○児童生徒同士の学び合いを大切にする授業実践や児童生徒の実態に応じた少人数指導の工夫改善等、確かな学力を身に付ける指導の充実

【情報活用能力】

○児童生徒の興味関心を高めるとともに学習内容への理解を深め、情報活用能力等を高めるICTを活用した授業の充実と学校図書館等の活用

【外国語によるコミュニケーション能力】

○外国語による「聞く」「読む」「話す」「書く」活動を通じたコミュニケーション能力を身に付ける指導の充実

【健康な体づくり】

○健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う指導の充実

<達成の目安とする指標> 全国学力学習状況調査、スポーツテスト結果を県平均以上とする

重点2 ICT教育や特別支援教育等の多様な学びを支援する教育体制の充実

【ICT教育と教育環境整備】

○情報活用能力を身に付けていくためのICT環境と誰もが安全安心に学ぶことができる教育環境の整備

【継続的な特別支援教育】

○発達障がい等のある児童生徒の教育的ニーズに応じた個別支援の充実と小・中学校の継続的な支援体制づくり

【不登校への支援体制】

○不登校児童生徒への学習支援や心の安定を図るため、不登校児童生徒が安心して学習や活動に取り組むことができる適応指導教室等による支援体制の充実

<達成の目安とする指標> ICTを活用した授業時間割合を100%とする
※1週間に児童生徒がタブレットを活用した授業時間数（授業の一部に活用した場合を含む）／1週間の総授業時間数×100

基本方針 2

【取組主体】◇学校◇教育委員会◇家庭

多様性を認め、尊重し合い、いじめや差別、偏見を許さない人権感覚を育てる教育を推進します

重点1 自他を大切にする人権教育、考え方を深める道徳教育、価値観を育てる体験活動の充実

【自己肯定力、共生力、思いやりの心】

○道徳科の授業の充実を図るとともに、人権に関する正しい理解を図り、自分の大切さと共に他の人の大切さを認めることができる人権感覚を高める教育の推進

【いじめ、差別を許さない心】

○いじめ問題やインターネット等による人権侵害、同和問題やLGBT等に対する差別や偏見等、今日的課題を克服していく教育の充実

【共に生きる力、社会性】

○地域と連携した福祉体験活動等を通して人の生き方や考え方に触れ、地域の一員としての自分の役割を考え、共に生きようとする態度や社会性を育む教育の充実

<達成の目安とする指標> 自己満足度アンケートを年2回以上実施し、人権教育等の充実により満足度が高まっている児童生徒を増加していく

重点2 家庭等との連携によるいじめを克服していくための指導支援の充実

【家庭との連携・協力】

○家庭との連携を深め、保護者の理解を得ながら取り組むいじめ問題への対応

【情報モラル教育】

○SNSやライン、ゲーム機などを安全に利用できる情報モラル教育の推進と家庭におけるインターネットの適切な利用に関する啓発の強化

【組織対応の強化】

○いじめの未然防止に努めるとともに機能的な教育相談の充実を図り、美濃市いじめ防止対策に関する条例、いじめ防止基本方針に沿った組織的な対応の強化

【専門的対応の強化】

○スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなど外部の専門家との連携に基づく専門的な見地による対応の強化

<達成の目安とする指標> いじめ対応に関して全家庭に周知し、理解・協力を得て対応する割合を100%とする

基本方針 3

【取組主体】◇教育委員会（行政）◇市民◇団体

ライフステージに応じたスポーツ活動、興味関心に応じて取り組む生涯学習、伝統・文化の継承等を通じた豊かなくらしづくりを推進します

重点1 一人一人のニーズや興味関心に応じたスポーツや学習機会の提供

【スポーツ】

○体育協会、スポーツ推進委員会、レクリエーション協会、うだつアップクラブ等との連携を図り、健康年齢5歳アップにつながる市民向けレクリエーション・スポーツ活動の推進と体育施設の充実

【学習】

○ニーズに応じた学習や図書館等を活用した学習機会の提供に努め、仲間と共に学び教養を高めることができる生涯学習の推進と社会教育施設の充実

<達成の目安とする指標> 健康づくりの一つとして、新たにスポーツや軽スポーツ等のレクリエーションに取り組む市民の人数を200人以上とする

重点2 伝統文化・伝統芸能の継承と市民参加の芸術活動の推進

【美濃学】

○美濃市の自然、歴史、伝統、文化、特色等を体系的に学ぶ美濃学の充実を図り、ふるさとを大切にしようとする教育の推進

【市民啓発】

○世界遺産をはじめとするふるさとの自然、文化、伝統等への理解を深め、保全・継承・発展させていく取り組みの推進

【市民参加】

○NPO 法人「四ツ葉のこうぞ」等の活動を支援し、市民の参加による主体的な芸術文化活動の推進

<達成の目安とする指標> 市民に伝統文化・芸能等の理解を深めてもらうため、それらを学ぶ機会の提供を6回以上開催する

基本方針 4

【取組主体】◇学校◇教育委員会◇地域・組織◇市民

人のつながりを生み出し、課題解決に向けて協力し合う安全安心な地域コミュニティづくりを推進します

重点1 青少年健全育成活動の推進と地域ネットワークの構築

【青少年健全育成市民会議】

○青少年健全育成市民会議を構成している団体や組織間での青少年に関する問題意識の共有と取り組みの具体化

【活動】

○児童生徒の姿や考えを市民に伝えることができる「考える会」や「わたしの主張大会」、市民が青少年健全育成について考える「市民のつどい」等の活動の充実

<達成の目安とする指標> 市民に青少年育成への関心を高めてもらうため「青少年健全育成市民のつどい」の一般参加者数を50人以上とする
※市民団体等に参加している人以外の市民の人数

重点2 地域学校協働本部等による子ども達の成長を支える仕組みづくり

【学校運営協議会】

○学校と地域が目指す子ども像を共有し、協働して子どもを育む「地域とともにある学校づくり」を推進するための学校運営協議会の設置と運営

【地域学校協働本部】

○地域全体で未来を担う子どもの成長を支えていくための様々な活動を行う地域学校協働本部の設置と運営

<達成の目安とする指標> 地域住民と協働した子どもたちの育成を推進するため、全ての学校区に学校運営協議会を設置し、地域との活動を一つ以上は実施する